

王滝村 議会だより



令和6年12月号

謹
賀
新
年



御嶽スキー場から 2025 年の初日の出

議長年頭あいさつ	・ ・ ・	1 P
議案審議・一般質問	・ ・ ・	2～7P
議会報告他	・ ・ ・	8P



NO.167

令和7年 新年のご挨拶

王滝村議会議長 下出謙介

新年あけまして、おめでとうございます。

2025年の輝かしい年を迎え、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。日頃より、議会運営にご理解ご支援お力添え賜り厚くお礼申し上げますと共に、昨年は、多くの村民の皆様方から傍聴をいただき、心からお礼と感謝を申し上げます。

さて、昨年は年明け早々日本列島を揺るがす能登半島地震で多くの方々が被害に遭われて現在に至るまで復旧、復興が進められています。御嶽山噴火災害からも10年が経りました。最近災害は忘れる前にやってくるといわれておりますので、一層危機管理の充実強化を図って行くことが必要不可欠です。

国の動向に目を向けてみますと、国政選挙が10月行われ初代地方創生担当相を努められた、自由民主党の石破総裁が新たな首相に選出され、『新しい地方経済、生活環境創生本部』を創設し、年末までに基本的な考え方の方向性を示されました。

新政権には一極集中から地方の成長を推し進める国の施策を強く望む所です。

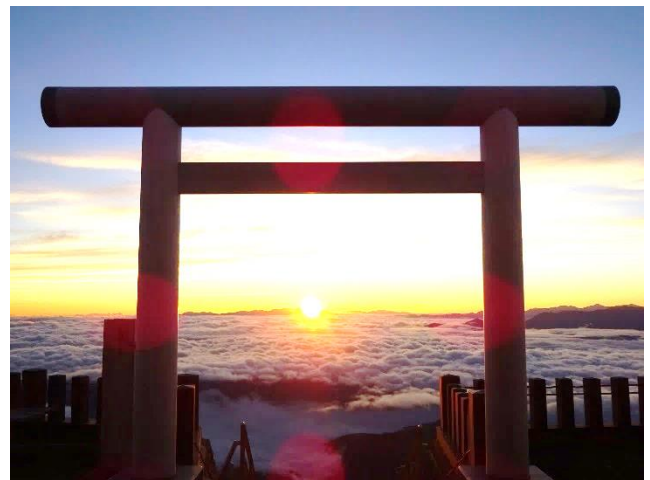
さて、昨年の議会活動を通して住民との対話（生活面、仕事面、環境面）等住民の声を直接聴き取ることができませんでした。今年は積極的に住民との語る会的集会を開き議会改革につなげていきたいと思ひます。

そして今年は村議会議員選挙の年となります。各地方議会で議員なり手不足が深刻化する中、当村においても例外ではなく村民からも関心が薄れ、議員のなり手が深刻化しております。仮に議会が機能しなくなれば地方自治力の低下は基より民主主義の崩壊につながり兼ね無い現実に関心を持っていただき新しい村づくりに取り組んでいただく村民の皆様方が必要とされます。

一方、村の課題は少子高齢化、人口減少が進み、結果空き家が増え、水田の荒廃地に生産者の高齢化が相まって益々厳しさがまじてきているのが現状であります。村の将来は次世代の人づくりだと思います。「出産、子育てする若者の定住化、若者の住みよい環境

作り、働く場への取り組み、そして福祉の充実、住みよい村づくり」といった底上げが不可欠であり、加え、村は御嶽山、スキー場ありきで潤って来ております。今も基幹産業に携わる村の就業人口の6割弱を占めておりますが、しかし年々減少傾向にあり関連産業の活性化に向けた取り組みが不可欠であることを踏まえ、国・県の制度資金を活用し具体的な課題に取り組み経済が好循環につながるよう、今までの政策をもう一度振り返り、見直しつつ小さな村の実状にあった、小さな村なりに、余り背伸びをせず身の丈にあった村づくりを推進していくことに議会としてもしっかりと取り組んでまいりたいと思ひます。

結びに、議員一人ひとりの強い決意と監視機能をより一層充実させると共に住民としっかり向き合い、寄り添い、耳を傾けながら付託に応じられるよう次元を高めつつ、本来の役割を明確な自覚を持って、親しまれる分かりやすい議会運営を進めていきたい、そういった強い思いで頑張っ参ります。村民の皆様方の今年1年が平穏な年であり限りない幸せと、ご多幸をご祈念申し上げ年頭のごあいさつとさせていただきます。



12 月定例会一般会計補正予算 1,292 万円を減額

11 月臨時会では工事費や人件費等で 1,578 万円追加。

王滝村議会 12 月定例会は 19 日に開会し、本年度一般会計補正予算など 6 議案、陳情 2 件発議 2 件全て原案通り可決して閉会した。一般質問には、西村祥夫氏、倉橋孝四郎氏が行った。本年度一般会計補正予算には、歳入歳出それぞれ 1,292 万円を減額。

11 月臨時会

11 月臨時会は 11 月 28 日に開会し専決処分 3 件、条例の改正 1 件、一般会計補正予算 5 件を原案通り可決。

《補正予算の主な事業》

- 一般管理費 103 万円
 - ・補助事業つなぎ資金貸付金
- 選挙費 129 万円
 - ・衆議院議員選挙
- 道路維持費 513 万円
 - ・村道 41 号線の路肩工事等
- 一般管理費 568 万円
 - ・特別職人件費、一般職員人件費
- 保険衛生費 67 万円
 - ・簡易水道人件費
- 学校給食費 34 万円
 - ・会計年度任用職員報酬

12 月定例会

歳入歳出それぞれに 1,292 万円を減額し、総額を 22 億 9,167 万円とするもの。補正の主な内容は橋梁維持費

《補正予算の主な事業》

- 保健衛生総務費 211 万円
 - ・簡易水道、下水道事業補助金
- 橋梁維持費 △1,820 万円
 - ・測量設計業務の取下げ

○債務負担行為補正（R7）上限 8,250 万円
 ・田の原観光センター及び電源室解体工事
 ※「ゼロ債務負担行為」とは、新年度の工事や業務委託などの発注に関して、今年度中に入札や契約を締結する事で、新年度当初から着工や着手を可能とするもの。今年度は事務手続きのみで支出が発生しないので、「ゼロ債務負担行為」と呼ばれる。



11 月臨時会・12 月定例議会 議案審議

議第 56 号（専決処分）

和解及び損害賠償の額の決定について

- ・松原スポーツ公園管理棟前に駐車してあった公用車に乗りバックで移動した際に後方に駐車してあった車両に接触し、助手席側ドアに損害を与え約 18 万円の支払いが生じた

議第 57 号（専決処分）

令和 6 年度王滝村一般会計補正予算（第 6 号）について

- ・衆議院議員選挙費委託金等（233 万円の追加）

議第 58 号（専決処分）

令和 6 年度王滝村一般会計補正予算（第 7 号）について

- ・村道 41 号線道路維持補修。十二権現下付近等（513 万円の追加）

議第 59 号

令和 6 年人事院勧告に伴う関係条例の整備に関する条例について

- ・人事院勧告に準じ、議員と特別職の期末手当を 0.1 月分の引き上げを行う
- ・人事院勧告に準じ、大卒程度の初任給を 23,800 円、高卒程度を 21,400 円引き上げる。また、期末手当と勤勉手当の支給率を 0.1 月分引き上げる

議第 60 号

令和 6 年度王滝村一般会計補正予算（第 8 号）について

- ・人事院勧告に伴い引き上げられた人件費分として等（738 万円の追加）

議第 61 号

令和 6 年度王滝村特別会計国民健康保険診療施設費補正予算について

- ・人事院勧告に伴う費用（26 万円の追加）

議第 62 号

令和 6 年度王滝村公営企業簡易水道事業会計補正予算について

- ・人事院勧告に伴う費用（67 万円の追加）

議第 63 号

王滝村一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例について

- ・長年勤務した職員、管理職の多様な働き方への対応として任期付き職員の任用等について改正

議第 64 号

令和 6 年度王滝村一般会計補正予算（第 9 号）について

- ・橋梁維持費等（1,820 万円の減額）。測量業務発注とりやめの為
- ・田ノ原観光センター及び電源室解体工事（ゼロ債務負担行為。限度額は 8,250 万円）

議第 65 号

令和 6 年度王滝村公営企業簡易水道事業会計補正予算について

- ・高原水道の補修工事等（112 万円の追加）

議第 66 号

令和 6 年度王滝村公営企業下水道事業会計補正予算について

- ・施設修繕費（98 万円の追加）

議第 64 号の債務負担行為に関して

問（胡桃澤）債務負担行為の補正についてうかがう。田の原観光センター及び電源室の解体工事に 8,250 万円の補正だが、債務負担行為は事業が単年度で終了しない場合、あらかじめ後の年度の債務を約束することを予算で決めておくもので、来年度中の田の原観光センターの解体が決定することを意味している。来年度の解体自体に反対ではないが、これで令和 3 年度から 5 年続けて田の原には食堂がないことになる。田の原へ行っても食べる所がないという一度できてしまったイメージを払拭することは簡単なことではない。解体と同時に新しい施設の完成を、全員が必ず目にするような場所でアピールをする必要があると思うがいかがか。

答 新しい施設の完成イメージ図や完成予定時期がわかるものを、適切な場所に設置するよう来年度予算に経費を計上したい。

一般質問

本文は答弁も含め質問者の執筆をもとにしています

防犯カメラの設置について

西村祥夫

問 先般の管理センターにおける盗難事件は、人的な被害がなく不幸中の幸いといえるが、同様の事件は全国で頻発しており、ついに王滝村まできたかと震撼するところであった。村内には空き家も多く、このような盗難事件の対象となりうる建物が点在している現状は非常に憂慮されるところである。以前から考えていたことではあるが、村内の主要箇所へ防犯カメラを早急に設置すべきと考える。村としてどのように考えているかお聞きしたい。

答(総務課長補佐) 現在村内で監視カメラを設置している場所は、王滝頂上、遙拝所及び田の原の3箇所。いずれも御嶽山の入山を監視するもので、それ以外の観光用のライブカメラは八海山と村道1号線沿いの田島にある。今回、御岳高原管理センターでの盗難事件の際、木曽警察署から「ライブカメラの映像を録画していないか」との問い合わせがあったが、村道1号線のカメラは録画機能を持っていない。今年度、村道1号線のライブカメラが更新時期を迎えたため、来年1月末工期で現在整備中だ。今回から既存の映像記録装置へ接続し、田島のライブカメラも録画を可能とする予定。ライブカメラのため御嶽山方面を向いているので、運用面で調整中。「村内の主要箇所へ防犯カメラを設置すべき」との質問だが、来年度の当初予算で王滝頂上の監視カメラをクラウド型へ更新し、30日間保存ができる機能とする。それと同程度のカメラをまずは二子持へ設置し、村への出入りを監視することを検討したい。

問 二子持に1台あれば村への出入りはほぼ確認できると思われるが、村の中心部にも設置したほうが良いのではないかと思う。ちなみに設置費用はどのくらいかかるのか。

答 確定ではないが、1台あたり60万円程度と聞いている。

村長施策の進捗を伺う

倉橋孝四郎

問 就任当初掲げていた、森と水の恵みをつなぐ村づくり、未来に輝く心ゆたかな人づくり、安心安全な暮らしづくり、魅力ある村づくり、この4つの政策の進捗を伺う。

答(村長) 施策の進捗状況を答える。

「森と水の恵みをつなぐ村づくり」

- ・王滝村住宅断熱性向上リフォーム支援事業だが申請実績がない状況。
- ・下流域や企業と協力した森林整備についてはJ-クレジット制度の認証を受ける事ができたので、自治体や企業・団体にクレジットを購入いただき、カーボンオフセットの取り組みを推進していく
- 「未来に輝く豊かな人づくり」
- ・令和4年度より未満時保育料無償化の実施
- ・木曽町中学へのスクールカーの運行、中学生の保護者対象の通学補助金制度の確立
- ・令和5年度から王滝村奨学金返還支援補助金制度の実施
- ・令和5年度から移住定住対策住宅補助制度の創設
- ・空き家改修事業補助金は令和6年度2件
- ・健康診断の各種検診の自己負担軽減

「安心安全な暮らしづくり」

- ・防災拠点施設は中学校棟への機能移転を軸に検討を進めている。今後、幅広く意見をお伺いしながら施設整備を行いたい。



2025年1月6日 現在7303人の利用者

・御嶽山安全対策は、昨年度から剣ヶ峰までの登山道に限った規制緩和を実施。

・トンネル、橋梁については、長寿命化計画に基づき整備を進める。道路については行政区から要望のある箇所、全ての修繕までは至っていない状態。

・上下水道設備については、老朽化による不具合が頻発していて、特に簡易水道については修繕工事費が増加する傾向。水は住民生活に直結することから、影響を極力少なくする維持管理に努める。

「魅力ある村づくり」

・王滝村の魅力は SNS により徐々に確実に認知され、最近では御嶽古道などにインバウンドのお客さんも増えてきている。

・田の原湿原は数十年前の状態とは一変し、池塘（ちとう）が殆ど消え、笹に覆われているが、昨年から委託事業による湿原再生プロジェクトを始めている。魅力ある地域づくりについては、後退することなく、一歩ずつでも確実に前に進むよう、取り組むことが肝要と思っている。

・大学等との連携と交流人口の増加については長野県立大学との包括連携協定を締結し、3 年目となる。12 月 15 日に行われた学生の活動報告会に参加した村民からは、今後も活動を継続してほしいとのご意見を頂戴したところ。若者が少ない当村にとっては、大変有意義な機会であり村としても来年度以降、継続したいと考えている。

「農業振興」

・遊休農地の利活用については、農業合理化組合を中心に、遊休農地も含めた農地が活用され、赤かぶや蕎麦などが生産されている。この地域で無理なく、農業が継続出来る環境整備が肝要と考えている。

問 Jクレジットの話だが、おおよその金額と現在考えている使い道について伺う。

答（村長） 今年認証を受けた 1,093t で換算すると約 1,800 万円（1t 辺り 16,500 円）。村有林を中心とした整備費用として使っていくが、愛知用水の水源地としての整備にも繋げる。今まで森林整備に使ってきた財源を、例えば福祉や教育に使う事もでき、厳しい財源状況ではあるが村民に還元できていると思っている。

問 村の資源を活用した事業、着実に確実に実施していったらいい。役場庁舎の移転

に関してだが、幅広く意見を聞きながら、とあるがどのような形で意見を聞きいつまでに方向性を確定される予定か。

答 行政懇談会で意見を伺いまとめていく。本年度中には意見を取りまとめて防災拠点の整備を進めていく。



お正月の祭儀の様子

社協の現状と今後について

問 令和 4 年に社協から要望書があがってきているが現在どのような対応になっているのか伺う（1、介護保険事業継続のための財政支援、2、福祉人材確保、移送サービスにおける福祉車両の更新について）

答（福祉健康課長） 財政支援については、事業運営と地域福祉推進事業にかかる 2 名分の人件費 1,378 万円や事業委託を含め、村から約 3,265 万円を支出している。「介護保険事業の赤字決算時における財政支援の検討」については、法人単位決算の年間費用以上の福祉基金を社会福祉協議会で保有していることから、一事業の赤字決算時の財政支援については検討していない。保健福祉センターの施設管理負担金の減免においては、令和 3 年度から実施をしており、令和 5 年度分も電気・水道・燃料などの光熱水費、年額 3,349 千円を減免している。また、福祉車両の更新については、新車に係るリース費用を地域支援事業に含め村から支出する事とし、令和 5 年度に移送車両 1 台の更新が図られた。人材確保については、介護職員初任者研修に係る費用の助成の予算はあるがここ数年受講者がいない。村への定着を含めて令和 5 年度に社会福祉協議会と話し合いをしながら、協力隊の募集をかけたが現時点まで応募がない。集落支援員もどのような業務を担うか等の具体的な話しは詰められていない。

問 過日行われた「木曽広域連合福祉・保健医療懇談会」の資料の中にもあるが、

「公共インフラ」としての福祉サービスの継続が必要と記されている。社協は基本的には民間だが、極めて公共的な役割が大きい団体でもある。急速に進む過疎化の中で「地域にとって必要な住民サービスの維持」を考えた時に、今まで以上にそれぞれの制度や分野を越えて官民協働していく事が必要だと思うがいかがか。

答（福祉健康課長）9月に社協と介護保険の状況について話し合った。村と社協で何が必要なのかお互いに協議をしながら今後の支援の方向性を検討していきたい。

問 社協は今後の村づくりにとっても重要な役割、雇用面でも大切な役割を担っている。人と資源が世代や分野を越えて丸ごと繋がっていく「地域共生社会」の構築の重要性も高まっている。その為には世代や分野の間に入る人材、繋げる人材が必要になって来る。国の制度で使える制度もあると思うので、今後検討していただきたい。

県道 256 号線の景観整備の体制について

問 観光客の増加や有害鳥獣対策の観点からも県道の景観整備が必要と思うが、現在どのような体制で整備をしているか。

答（経済産業課長）平成 21 年 4 月に当時の王滝村観光総合事務所と長野県と村でアダプトシステムの協定を締結している。自治体と住民や地域団体が協定を結び積極的に美化活動を進める制度だが、近年は高齢化等により参加者も減り草刈り作業を年に数回実施。折角の制度なので関係機関や地域住民に幅広く声を掛け地域全体で取り組んで行ければと思う。観光地の景観整備事業を活用し大又地区の県道沿いでも整備を実施している。

問 村内事業者や観光事務所が積極的に出てくれているようなので、その民間主導の中にも行政のバックアップが入ると更になると思う。景観が整備されることは、住民にも観光客にも良いこと。観光というツールを使ってより良い地域を作っていく、「住んでよし、訪れてよし」このような地域を作っていくための観光のあり方を今後考えていっていただけたらと思う。

木曽広域連合議会 11 月定例会報告

木曽広域連合議会は、令和 6 年第 4 回定例会 11 月 29 日（金）午後 3 時に開会。上程議案はいずれの議案も、人事院勧告に関連するものが主な内容で、条例改正 2 件、令和 6 年度補正予算 3 件の計 5 件。

○議案第 22 号 木曽広域連合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

・令和 6 年 8 月人事院勧告に基づき一般職等の給料及び賞与の支給月数を改正するもの。

○議案第 23 号 一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について

・同じく人事院勧告に基づき、任期付職員の給料及び賞与の支給月数を改正するもの。

○議案第 24 号 令和 6 年度木曽広域連合一般会計補正予算（第 3 号）

・歳入歳出それぞれに 779 万円を追加し、歳入歳出予算の総額を共に 32 億 6,962 万 4 千円とするもの。

○議案第 25 号 令和 6 年度木曽広域連合介護保険特別会計補正予算（第 3 号）

・歳入歳出それぞれに 125 万 5 千円を追加し、歳入歳出予算の総額を共に 39 億 7,334 万 3 千円とするもの。

○議案第 26 号 令和 6 年度木曽広域連合下水道事業会計補正予算（第 1 号）

・収益的収入及び支出それぞれに 17 万 3 千円を追加し、収益的収入及び支出予算の総額を共に 1 億 1,059 万 4 千円とするもの。

（全員協議会）

1 環境センター施設管理業務委託について



凍り始めた清滝

請願陳情

12月定例会で審議された請願・陳情等は下記のとおりです。

○臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情（資料配付）

○女性差別撤廃条例選択議定書の速やかな批准を求める陳情（採択）

○私立高等学校に対する公費助成をお願いする陳情書（採択）



編集後記

村は12月24日に公用の軽自動車1台を車検が3ヶ月余り、自賠責保険が2ヶ月余りそれぞれ切れた状態で使っていたと発表した。この間に事故はなかった。職員の確認不足が原因で、12月20日までに職員1人が計57回、距離にして3,698キロを走っていた。村は同時に再発防止策も発表しているが、防止策と共に、職員の意識改革が問われている。（公）

発行/王滝村議会

編集/議会だより編集特別委員会

長野県木曽郡王滝村 3623/(電)0264-48-2001

議会日誌

9月

- 19日 村議会9月定例会・第3回議会だより編集委員会
- 21日 おうたき保育園運動会
- 24日 長野県町村議会議長会政務調査部会（長野市）
- 25日 例月出納検査（8月分）
- 26日 長野県町村議会議長会事前打合せ（木曽町）
- 27日 御嶽山噴火災害犠牲者献花式（松原スポーツ公園）

10月

- 1～2日 長野県町村議会議長会役員会（栃木県）
- 4日 第4回議会だより編集委員会
- 5日 長寿を祝う会
- 9日 木曽南部土砂防災ネットワーク議員連盟総会（大桑村）
- 11日 木曽郡町村議会議長会（木曽町）
- 12日 御嶽神社霊神社祭打合せ会
- 15日 長野県町村会定期総会（長野市）・北信越町村議会議長会臨時会長会議（東京都）・議会だより発行（166号）
- 16日 全国町村会都道府県会長会・全国豪雪地帯町村議会議長会総会（東京都）
- 17日 愛知県水道南部・北部ブロック協議会表敬訪問、木曽郡議員総会決議案の県への陳情（長野市）
- 18日 長野県町村議会議長会定期総会（長野市）
- 20日 霊神社祭
- 22～23日 全国監査委員研修会（東京都）
- 25日 例月出納検査（9月分）
- 26日 長野県戦没者追悼式（佐久市）
- 31日 ペーパーレス研修会、議会打合せ

11月

- 6日 長野県町村議会議長会打合せ、木曽郡町村議会議長会（木曽町）
- 7日 議会景観整備作業（松原）・中部国道協会促進大会（東京都）
- 8日 県への要望運動及び知事との懇談会（長野市）
- 12～13日 長野県町村議会議長会県選出国會議員への要望活動（東京都）
- 13日 町村議会議長全国大会（東京都）
- 14日 北陸新幹線建設促進総決起集会（東京都）
- 15日 長野県後期高齢者医療広域連合議会（長野市）
- 18日 木曽郡町村議会議長会白果峠視察研修
- 19日 木曽広域連合議会議会運営委員会・総務常任委員会・経済観光常任委員会・福祉環境常任委員会（木曽町）
- 23日 御嶽神社秋の大祭
- 25日 例月出納検査（10月分）・長野県町村議会議長会要望活動（東京都）
- 28日 11月臨時議会・第8回議会運営委員会
- 29日 広域連合議会11月定例会（木曽町）

12月

- 4日 御嶽スキー場安全祈願祭・長野県町村議会議長会打合せ
- 6日 長野県町村議会議長会役員会（長野市）
- 8日 木曽観測所50周年記念シンポジウム（木曽町）
- 9日 商工懇談会（村公民館）
- 11日 第4回全員協議会・第9回議会運営委員会
- 12日 防犯指導員会
- 19日 村議会12月定例会